

令和3年度第2回 教育課程編成委員会

【日 時】 令和3年12月6日（月） 10：00～11：00

【場 所】 こころ医療福祉専門学校壱岐校

【委 員】 壱岐市社会福祉協議会会長 末永 榮幸
壱岐市立老人ホーム所長 末永 文武（欠席）
社会福祉法人博愛会特別養護老人ホーム
ハッピーヒルズ（幸せの丘）
施設長 永田 信弘
こころ医療福祉専門学校壱岐校校長 後藤 久志
こころ医療福祉専門学校壱岐校教育部
介護福祉科学科長 田島百合子
【事務局】 こころ医療福祉専門学校学生部 中原 正和

- 議 題
- 1 令和4年度教育課程について
 - 2 令和3年度合同就職面談会について
 - 3 介護福祉士国家試験への取り組みについて
 - 4 第1回委員会以降の事業報告並びに今後の予定について
 - 5 今後の課題について
 - 6 その他

内 容

1 令和4年度教育課程について

（配布資料に基づいて、カリキュラム改正によって示された目指すべき介護福祉士像について確認。）

事務局:2年間で1850時間をクリアすることを求められているが、本校のカリキュラムは2年間で1964時間と大きく上回っている。2年生の今の時期は、国家試験への対策を中心に更に勉強してもらおう。去年は外国人も2名が合格したので、全学生が合格できるように今後の頑張りに期待したい。

コロナで外部の人と接する機会が減っており、留学生にとって、日本語を話す機会が減っている。日本語は使わないと覚えないが、実習に行っても専門用語が難しく、理解できない時がある。コロナが落ち着いて、外部の人と接する機会が増えれば、会話技術、倫理

観や介護観も身についてくる。

2 令和3年度合同就職面談会について

事務局:現在1名内定。9事業所の参加で、2年生7名、1年生2名の計9名参加。来年は2名しかおらず、面談会を実施すべきか迷っている。

壱岐高校、壱岐商業高校への募集活動を行っているが、各高校の学生数が少なく、入学者も減っている。留学生もコロナで入国できておらず、以前よりも少なくなっている。五島へ就職する留学生もいるが、留学生を頼りにしないと介護職員の確保が難しいとのことだ。日本人5名の就職活動は、国家試験と時期が重なり進んでいない。

委員:5名がまだ決まっていないみたいだが、入所試験日はいつなのか。内定を先にいただければ国家試験に集中できる。前校長は、12月前半に内定決定をしていただければ助かると言われていた。

委員:学生に安心感を持たせてあげないといけない。うちの職場(壱岐市社会福祉協議会)ではこころ医療福祉専門学校を卒業した者とそうでない者がディスカッションできる職場を目指している。高卒の資格を持たない者と、資格を持っている者を対等で雇いたいと考えている。現在、社協の職員を研修生としてこの学校で学ばせているが、この制度がずっとできるかといえば分からない。研修生以外の学生にどうアポイントを取ればよいのか、難しく思っている。

事務局:国家試験とは別で考えていただきたい。12月中に内定決定をお願いできれば、技術は事業所毎で違うが、倫理観・介護観は学校に行っているかそうでないかでは差がある。実習に行つて覚悟もできている。

事務局:今の1年生は介護事業所に介護実習に行けている。外部に実習に行けると校内実習では大きな違いが出てくる。2年間の勉強を通じて、こういう点を鍛えて欲しい、こういう指導をしてほしい等があれば遠慮なく言っていただくと有難い。

3 介護福祉士国家試験への取り組みについて

事務局:間もなく受験票が届く。船の予約や宿泊先も決まっている。勉強も18時まで頑張っている学生もいるが、もう少し頑張つて欲しい。お互いが切磋琢磨しながら目標達成に向けて頑張つてほしい。冬休みは有効に時間を活用させ自己学習を徹底させる。留学生も帰りたいと言っていたが、新しいオミクロン株が流行しつつあり、当分帰れないことは理解している。

4 第1回委員会以降の事業報告並びに今後の予定について

事務局：今年のオープンキャンパスは高校のみならず、中学校へと広げた。留学生内部進学者は10名受験。社協より男女1名ずつ受験予定。10月に中学校進路説明会に参加。当初、専門学校はあるが何をしているのか分からなかった。「壱岐のこころ」へ行くための学校と思っていたが、独立した関係と分かった。自宅から通える学校として中学校側からも評価をいただいている。保護者に関しても、中学生の子供だけではない家庭もあるので、宣伝として一石二鳥の効果があった。大学は別として、島外へ出るとなると、保護者は子供に進路選択を任せ、あまり深く考えていないが、島内でこれだけの支援があり勉強ができるという話になると、説明を真剣に聞いていただいた。学生だけではなく、早い段階で保護者にも本校のことを理解してもらおう機会を作ることは大変意義があると痛感した。

11月には県議や県長寿社会課の視察が行われた。来校された方々は、留学生の意識の高さに感心されていた。

1月30日は介護福祉士国家試験。3月8日に卒業式を予定しているが、留学生の引越しや在留カードの手続きもあり、日程は総合的に判断したい。

5 今後の課題について

・有効な学生募集について

事務局：今年度は壱岐高校で139名、壱岐商業高校で78名、両校合わせて200名程度しか卒業生がいない。その中に介護の希望者がいない状況である。

委員：生産人口を増やさないといけない。

事務局：壱岐に残りたい人は多いが、生活のためにどうしても島外に出て行かなければならない人もいる。

委員：定員が決まった介護施設では、介護報酬も決まっている。新陳代謝しないと運営が難しくなる。

委員：24時間体制のところは介護報酬が高いが、昼間だけのところは収入が少ない。

パート職員も社会保険に加入しないといけない。最低賃金が上がっても補填がない。人の質がいい人、ホームヘルパーがいない。このような状況に介護現場が慣れてしまっている。事故やヒヤリ等の入力の手書きで、パソコンでは時間がかかる。栄養を管理している厨房なども介護として扱ってもらいたいくらい

である。

・コロナ感染症拡大防止について

委員：ワクチン接種が済んでいれば、実習に行かせても大丈夫と思います。

事務局：留学生は行動が限られており、逆に安心です。日本人の学生が心配。

委員：トラック運転手や法事や帰省で帰ってくる人もいる。地域の寄り合いもある。うちの事業所では忘年会も30人までと人数制限を出している。職場で濃厚接触者1名を出してしまったが、学校へ通い出したら行動範囲をつかめない部分がある。

委員：やはり他の施設を見ていかないと覚えにくい。

事務局：日頃校内消毒はしているものの、日本人が気を付けてくれないと困る。新型コロナウイルスの新しいオミクロン株の影響で、留学生は母国へ帰れなくなった。就職した先輩たちも帰れていない。自分たちが就職しても自分たちはその次、しばらく帰れない。学生便りをルビ付で出して、全体指導や担任に指導してもらいながら、感染予防についての注意喚起を行っている。

6 その他

事務局：今後もあらゆる面でご協力・ご指導をお願いします。本日はありがとうございました。

その他ご意見なければ、以上もって令和3年度第2回教育課程編成委員会を終了いたします。